

優秀論文紹介

2015年度に修了されました13期生の中から
“Best Paper Award” 及び “Best Business Plan Award” を
受賞された方々をご紹介します。

Best Paper Award (ビジネスリサーチ)



河田 浩昭さん

観光地・観光施設の発展と観光者ロイヤルティの構築に関する考察

■ 論文内容 ■

観光の価値には、言語的認識に基づく「精神的価値」と身体的認識に基づく「身体的価値」がある。観光地・観光施設の発展・成長と観光の価値、観光者のロイヤルティの関係について定量的な分析を行ったところ、観光地・観光施設の身体的価値が推奨意向やロイヤルティに影響し、その発展・成長と関連する可能性が示唆された。

■ 論文作成時の苦労話やアドバイス ■

修士論文の作成期間は短いため、できるだけ論文提出までの作業ステップを明確にし、時間管理に努めました。また、先行研究を進めていく中で、自分の問題意識と先行研究で解明されていない領域を紐づけるのに苦労しました。仮説検証の段階で想定より時間がかかりましたが、今思うと、アンケートを設計する段階でテスト調査を行っておけば結果の精度が上がって傾向も明確になって、分析もスムーズだったかもしれないと思いました。



黒田 明彦さん

パブリックリレーションズと企業価値評価

■ 論文内容 ■

企業の広報活動の状況と財務指標との関連性を分析し、「パブリックリレーションズ活動は、ステークホルダーとの間で経営方針や経営戦略に関する合意を形成し、パブリックに対してそれらを周知することにより、将来の不確実性を減少させ、資本コストを低減させる。その結果、企業価値評価は向上する」との仮説を検証した。

■ 論文作成時の苦労話やアドバイス ■

論文のテーマは、比較的早い時期から決まっていました。普段の仕事ですし、関連する文献も以前から読んでいたからです。そのパブリックリレーションズを、RBSで学んだファイナンスの企業価値評価の考え方を通して見直してみようと考えました。最も苦労したのは検証データの解析でした。10月から始めたのですが、なかなか結果がでず、正月三ヶ日も院生室でSPSSと格闘しながら過ごしました。論文を提出したのは、締め切りの3時間前でした。



杉山 章さん

グローバル自動車企業における組織マネジメントに対する従業員意識の変化

■ 論文内容 ■

組織マネジメントと従業員意識の変化の関係は？というRQに対し、日本企業の組織変化と従業員満足度の比較調査を先行研究として、グローバル企業の従業員サーベイを統計分析で実証研究を行った。従業員の関与の強さと従業員満足に正の相関が共に見られる一方、権限移譲や責任範囲の関係性が異なっている可能性が示唆された。

■ 論文作成時の苦労話やアドバイス ■

早期にテーマを決めていましたが、研究が進み関心が多方面に広がると問題意識の絞り込みに苦労しました。実務問題の整理と、学術研究の概観を把握して「何故、この問題をやりたいのか、何を明らかにしたいのか」が絞れました。先行研究を理解、評価した上で、唐突感なくプラスαのオリジナリティを求めて、問題意識ととことん言語化する苦労はラストには達成感に変わります。アタマで汗をかき、とことん書き込む事をお勧めします。



劉 瀟さん

来日中国観光客の消費者行動についての一考察 ～消費者行動論の観点から～

■ 論文内容 ■

来日中国人観光客の日本における消費行動に着目し、彼らの「爆買い」購買行動を通じて、消費者を購買に動機づける心理的メカニズムの解明に向けて考察することである。研究手段としてアンケート調査を用いて、来日中国人観光客の「買物行動」の特徴を明らかにし、来日中国人観光客の消費行動が企業にどのような影響を与えるかについて考察するものである。

■ 論文作成時の苦労話やアドバイス ■

私は論文作成時に様々な苦労を経験しました。振り返ってみると、目標を立てて、細かく分けて、一つ一つクリアすることが大事だと思います。
①テーマを早く決めること。
②論文の書き方についてしっかり把握した上で、論文を書くこと。
③ゼミを大事にして、指導教授や仲間とのコミュニケーションを上手く取り、助言を頂くこと。
④論文の構成を常にチェックすること。そして、完成した後の校正にも時間が多く取られるので、とにかく、早いうちに終わらせるのが重要です。



岩井 雅代さん

携帯型ICT端末とSNSを利用した訪日外国人の観光行動に関する研究 ～フリジェン観光行動モデルの応用～

【論文内容】

訪日外国人の観光行動に焦点をあて、観光行動に関する先行研究を踏まえ、携帯型ICT端末とSNS利用による新たな観光行動モデルをフリジェン観光行動モデルの応用として提案できないか、というテーマをもとに定量的なアンケート調査を実施し、分析しました。

【論文作成時の苦労話やアドバイス】

訪日外国人に関する調査報告は色々ありますが、調査報告であり論文ではありません。よく先行研究がない、という言葉は耳にしますが、私も最初はそうでした。色々なアイディアは思いつくのですが、それは思い付きでしかなく、自分の理論を証明するためには、やはり先行研究との比較が大切になります。先行研究を探し当てるため、自分が課題としている真の課題は何かを「なぜそう思うのか」と日々自問自答することが大切だと思います。

Best Business Plan Award (ビジネスデザイン)



幸田 美登里さん

小口卸チャンネルに於ける新たなもう一つの選択肢の提供と、 ライフスタイル提案型小規模小売店のネットワーク化

【論文内容】

消費者ニーズの多様化の下、規模の大小にかかわらず、多くの小売業が試行錯誤を繰り返すなか、日常のこだわりを満たす商品を販売するライフスタイル提案型小規模小売店に、商品仕入れの可能性を広げる新たな選択肢の提供と、これら小売店間の経験知や情報の緩やかな共有を図るコミュニティの構築を目指したプランです。

【論文作成時の苦労話やアドバイス】

プランの作成にあたって、ビジネスプランの目指す提供価値がぶれないようにと注意を払いながら進めていきましたが、時として、詳細にこだわるあまり、大木を見失いそうになりました。それに気づかせ、もう一度原点に戻るヒントを与えてくれたのは、ゼミ内での発表後の他のゼミ生からの感想や質問、また、主査・副査の先生とのやりとりでした。後輩のみなさん、是非ともゼミを最大限活用して、素晴らしいプランを完成してください。



金子 千恵さん
太田 宏道さん

※金子さんと太田さんは共同プランによる連名での受賞です。

大学生のための奨学金返済支援事業

【論文内容】

本ビジネスプランの目的は、社会課題である大学生の貸与型奨学金における卒業後の返済負担問題を解決する一助となることを目指した。課題解決のため、行政とパートナーが組みやすいNPO法人を運営し、事業内容を次の2部門で構成した。1つ目は「貸与型奨学金」受給者である学生に対し、在学中は学べるアルバイトとして学生が参画する研修事業を通じて社会人基礎力を醸成する。2つ目の部門では、それら学生が就活時には奨学金肩代わり企業と人材マッチングができるよう企業や自治体と連携する仕組みを構築する。これら事業を通し、意欲のある貸与奨学生が、返済負担による機会不平等が解消され自己が描くライフプランに夢を持てるようになることを願う。

【論文作成時の苦労話やアドバイス】

金子さんのコメント：私たちは二人で1つのビジネスプランを創るにあたり、まずは自分達のキャリアの棚卸しから始め、社会課題と私たちの強みをどうマッチングさせるかからプラン構築をしました。私は秋以降に毎週出張が予定されていたため、GWには骨子を固めSWまでに大方のスライドを作成するタイムスケジュールで進めました。瀧澤先生は私たちとご一緒に「奨学金問題」に対するアンテナを張り、様々な角度からアドバイスをくださいました！

太田さんのコメント：各自の経験、スキル、強みを生かし、実現可能なものをビジネスプランにしました。我々は地方出張が多く一緒に作業することが難しいため、最初に役割分担と概要を決め個々に作成しましたので、11月には完成させる事が出来ました。スライドは70枚になり修士論文試験では全体を20分で説明しなければならぬため、瀧澤先生ご指導の下で練習を繰り返し、分かりやすく伝える事に苦労はしましたが、時間ピッタリで発表できました。

受賞おめでとうございます